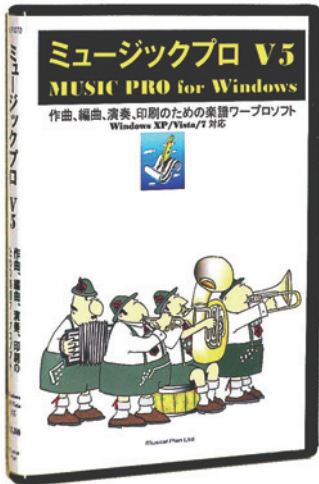


作曲、編曲、演奏、印刷のための楽譜ワープロソフト

ミュージックプロ V5

MUSIC PRO for Windows

Windows XP/Vista/7 対応



シングルライセンス・パッケージ版

ミュージックプロ V5

19,740円(本体価格18,800円)

MPFW5

ミュージックプロV5・プラグインソフトセット：歌じまん、歌じまん2(ワンダーホルン)、MusicXML ツール
製品構成：CD1枚、登録カード、導入ガイド

教育機関向け製品

校内フリーライセンス・パッケージ版

ミュージックプロ V5 校内フリーライセンス版

197,400円(本体価格188,000円) MPFW5S

小学生のミュージックプロ V5 校内フリーライセンス版 197,400円(本体価格188,000円) MPFW5ES

ミュージックプロV5・プラグインソフトセット(1ライセンス)：歌じまん、歌じまん2(ワンダーホルン)、MusicXML ツール
製品構成：CD1枚、登録カード、導入ガイド

*校内フリーライセンス版は、学校内におけるPC全てにミュージックプロV5をインストールしてご活用いただけます。

但し、プラグインソフト各種は1ライセンスのみです。複数のPCでご活用される場合は、必要数を(有)ミュージカル・プランより別途ご購入ください。

*「小学生のミュージックプロV5」は、機能は「ミュージックプロV5」と同じですが、小学生が簡単に使えるように工夫した初期メニューになっています。

ミュージックプロは、楽譜作成の容易さ、操作のわかりやすさを最大の特徴とする作曲・編曲・演奏・印刷用コンピュータミュージックソフトです。「音が出る楽譜ワープロ」として、長きに亘って音楽愛好家に愛用されていますが、このたびV4からV5に待望のバージョンアップを果たしました。紙の五線紙にペンで音符や休符を書くのと同じような感覚で、コンピュータ画面に表示された五線譜に自由に音符や休符などの音楽記号を入力して、楽譜を作成することができます。

はじめてコンピュータに触れる児童・生徒でも、簡単な操作ですぐに活用できます。

■ミュージックプロ V5 の動作環境

- OS：Windows XP日本語版/Windows Vista日本語版/7日本語版
- 必要なハードディスク空き容量：100MB
- 必要なメモリ容量：XPでは256MB以上、Vistaでは2GB以上のRAM
- 音源：ソフトシンセサイザー、サウンドカード、各種MIDI音源など
- CD-ROMドライブ：ソフトウェアをインストールする場合に必要

■入力機能の特徴

★絵を描くような感覚での楽譜作成

鉛筆を持ち、五線紙に向かって作曲する感覚で楽譜作成、曲作りが可能です。楽譜のどこにでも自由に各種音楽記号を書き入れ、コンピュータに実際の奏者が楽譜を見て演奏するかのように楽譜を解釈させて自動演奏させることができます。代表的なメロディ譜やピアノ譜などはあらかじめテンプレートで用意しています。各種音楽記号もパレットの中から選び出し五線紙に貼り付け、すぐに演奏に反映させることができます。最大40パートまでのフルスコアを作成でき、全パートを同時に画面表示し、全体の構成を考えながらの編集が可能です。またMIDI音源のマルチポートにも対応していますので16ch以上の本格的な再生もできます。

★歌詞の行入力 **NEW**

一行の歌詞をテキストで先行入力し、自動的に音符に貼り付けます。

★五線のレイアウトの自由度がアップ **NEW**

五線の表示がもっと自由になって、段の途中が切れている五線や、段の途中で終わっている五線を表示できるようになりました。ページに余白があっても強制的に改ページができるようになりました。

★MIDIキーボードからの楽譜作成

MIDIキーボードからの演奏を楽譜化することができます。リアルタイムで弾いたもの、あるいはMIDIキーボードの鍵盤に各種音楽記号を割り振ってのステップ入力など、マウスでの楽譜作成よりも、キーボードを弾ける人ならスピーディーな作業ができます。

★スタンダードMIDIファイルを楽譜化

スタンダードMIDIファイル(SMF)を読み込んで楽譜化できます。

■演奏機能の特徴

★男女の声でコンピュータが歌う **NEW**

歌詞入力も自在です。さらにプラグインソフトの「歌じまん」、「歌じまん2(ワンダーホルン)」を使えば、メロディに合わせてコンピュータに音声合成機能で歌わせることができます。「歌じまん2(ワンダーホルン)」を用いることにより女性のきれいな声で歌えます。

*「歌じまん」：ドキュメントカー(ドキュメントカーはクリエイトシステム販売(株)の商標です)を用い、男性の声でPCが楽譜を歌います。

*「歌じまん2(ワンダーホルン)」：ワンダーホルン(ワンダーホルンはNTTアドバンステクノロジー(株)の商標です)技術により、PCが女性と男性の声で楽譜を歌います。

★楽譜を解釈してMIDI演奏機能

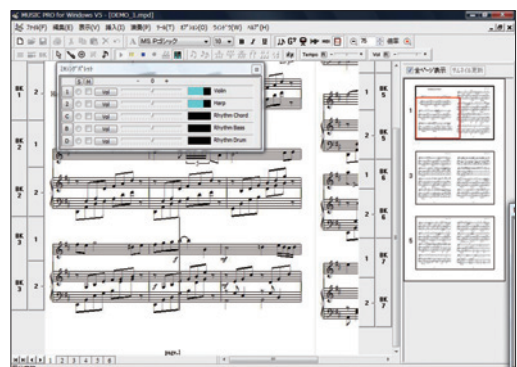
画面に自由に入力された音楽記号を、楽譜として判断、解釈し、内蔵音源、もしくはMIDI音源で演奏を行います。トリルやアルペジオ、グリッサンドなどの音楽記号も演奏に反映させることができます。また演奏時にはSWINGさせることもでき、これまではなかった演奏を楽しむことができます。

★多彩なリズムパターンとコードネームによる自動伴奏機能

メロディに400種類の自動伴奏パターンから選んでバックিংをつけ、より曲らしく演奏させることも簡単にできます。

★演奏時のミキシング機能 **NEW**

楽譜のパート毎に音量をミキシングできます。これにより自動伴奏の各パートの音量コントロールが簡単にできるようになりました。



編集&表示機能の特徴

★フリーに書いた楽譜を清書

小節内音符の間隔を揃え再配置する機能に加えて、曲途中の小節単位での挿入・削除が自在になりました。小節を挿入・削除すると、後ろの段の小節を繰り上げたり、繰り下げたりしての再レイアウトが可能になりました。

★レイヤー構造を採用 NEW

8つのレイヤーに分けて入力表示ができるようになりました。1段の五線に複数のメロディが交差する場合に入力編集がやりやすくなりました。

★カーソルモニターによる入力確認 NEW

入力した楽譜にカーソルを置き、左右上下矢印キーで音符をわざわざモニター演奏ができるので、入力音符のチェックが楽にできます。また、チェック時にカーソルキーで音程が変更できますので、入力済み楽譜の修正が楽にできるようになりました。

★演奏時の音楽記号シンクロ表示 NEW

演奏中は小節単位でシンクロ表示が行われますが、それに加えて音符単位で演奏シンクロ表示ができます。これにより、演奏されている音符にカーソルが表示されるので、音の確認がしやすくなりました。

★何回でもできるアンドゥ NEW

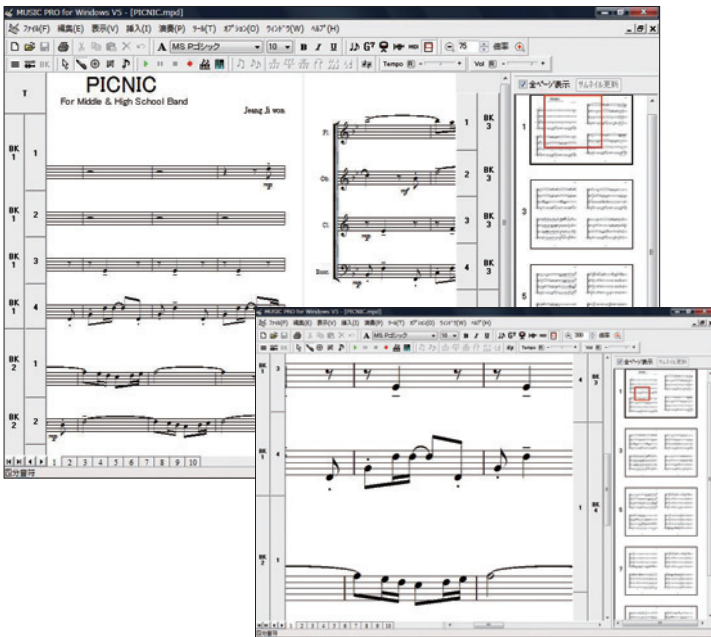
V5からは、メモリの許す範囲で、アンドゥは何回でもさかのぼることができるようになりましたので、安心して入力編集ができます。

★音符や記号を楽に掴める NEW

マウスカーソルが音楽記号の上を通過すると記号が反転表示されるので、そのタイミングで記号を選択することができます。これにより、編集作業が楽になります。

★ズーム付き楽譜サムネイル、見開き表示機能 NEW

楽譜を見開き2ページで表示、入力、編集ができるようになりました。また、入力中の楽譜のみならず、すべてのページのサムネイルが表示されますので、任意のページの任意の箇所にはやくジャンプし、任意の拡大縮小で入力編集が可能となりました。細部の入力編集に必要となる楽譜を拡大、ページ全体の把握に必要な縮小表示など、楽譜の任意の拡大縮小機能が便利です。



★高さの不揃いを揃える NEW

高さが不揃いの歌詞やコードネームなどを選択して揃えることができます。

印刷機能の特徴

★携帯電話のQRコード付き楽譜印刷 NEW

携帯電話の読み取り機能によって一躍普及したQRコード。ミュージックプロで作成した楽譜を印刷する際に、QRコードも付けて印刷することができます。

そして楽譜の余白に印刷されたQRコードを読み取ることで、携帯電話で再生することができます。これはまさしく音を奏でる楽譜といえる画期的な機能です。楽譜が得意ではない人に楽譜を渡す場合などでも、メロディを聴いてもらえることになります。

(尚、この機能はNTT-ドコモのQRコード読み取り機能付きの携帯電話のみ対応です。またQRコード化できるメロディの音数に制限があります)



★スコアからパート楽譜の生成印刷

合奏用の総譜(スコア)を作成したら、印刷時にパート印刷も選択できます。また、印刷の前にパート譜を別ファイルとして生成することもできますので、パート譜に移調や修正を加えて保存、印刷することもできます。

★拡大縮小印刷 NEW

楽譜印刷時に余白を指定することにより、自動的に拡大縮小して印刷できるようになりました。

作った楽譜データの活用

★楽譜のPDFファイル生成機能 NEW

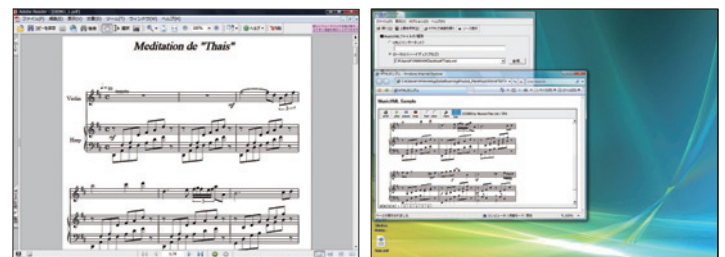
作成した楽譜をミュージックプロだけでPDF形式のファイルに変換することができます。これにより、PDF作成ツールをお持ちではない場合でもPDFを簡単に作成することができるようになりました。

★Wordなどワープロソフトへのメタ画像楽譜の貼り付け

作成した楽譜をWordやExcelなどのワープロソフトにTrueTypeフォントのまま貼り付けて、楽譜入りの文書を作ることができます。譜例入りの試験問題や学習指導案を作成するなど、いろいろな利用方法が考えられます。またテキストとしての音楽記号入力用フォントも用意しました。

★MusicXMLファイルでインターネット対応

ミュージックプロ・プラグイン「MusicXMLツール」がインストールされていると、作成した楽譜からMusicXMLファイルを生成することができます。ミュージックプロV5で作った楽譜をインターネットのホームページに組み込み、ミュージックプロを持っていない人でも、インターネットブラウザ「Internet Explorer 5.0以上の環境で専用の楽譜ビューアー「MusicX」を使えば、その楽譜を表示させ、さらに演奏、アウトラインの楽譜印刷まで可能です。



PDFデータ作成例

インターネットブラウザでの楽譜表示例

★ミュージックプロ・シリーズの過去の楽譜データ活用 NEW

MUSIC PRO for Windows Ver.3.0~MUSIC PRO for Windows Ver.4.2の楽譜データはもちろんのこと、以前のPC-9800やFM-TOWNSのミュージックプロシリーズで作られた楽譜データも読み込んで編集が可能です。また、MUSIC PRO for Windows Ver.4形式(MPD)に書き出すこともできます。



ヤマハ株式会社

■ 販売元：ヤマハ株式会社 国内営業本部 管弦打学校営業部 TEL.03-5488-1686
<http://www.yamaha.co.jp/edu/>

■ 開発元：有限会社ミュージカル・プラン <http://www.musicalplan.com>

- Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標および登録商標です。
- 製品名、および社名は各社の商標および登録商標です。
- 本カタログに記載の商品の価格はすべてメーカー希望小売価格で税込金額を表示しています。



このカタログは無塩素漂白 (ECF) パルプを使用し、大豆インキで印刷しています。

2010年9月作成
カタログコード -KCA1009